

化学療法計画書

ID					
氏名					
生年月日					
実施部署			発行日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m ²)	1.50

指示医師:		
指導医師:		
投与開始予定日:	年	月 日
投与終了日:	年	月 日

病名	小細胞肺癌
治療法	シスプラチン+エトポシド併用療法

	1	2
抗癌剤・商品名	シスプラチン	エトポシド
規格	10mg/20mL 50mg/100mL	100mg/5mL
一般名	シスプラチン	エトポシド
一日投与量(規定)	80mg/m ²	100mg/m ²
患者情報から算出した一日投与量	120.09 mg	150.11 mg
実際の投与量	120 mg	150 mg
	79.9 mg/m²	99.9 mg/m²
投与日	day1	day1,2,3
1クール期間	21日間	
予定クール数		
検査スケジュール	原則的に投与日に化学療法施行前セット 検査データに応じて臨時に検査実施	

適応基準	小細胞肺癌
推奨経口剤	○このレジメンは中等度催吐性リスク群です。(day1) ※5HT ₃ 受容体拮抗薬+点滴デカドロン(点滴レジメン組込み)以外に以下の経口制吐剤を推奨します。 デカドロン: day2, 3, 4: 8mg/日 イメンド: day1(抗癌剤投与前)125mg、day2・day3 80mg/日はオプションとして使用可。ただし、デカドロン投与量を半減すること。
禁忌	1.重篤な骨髄抑制のある患者 2.本剤又は他の白金を含む薬剤に対し、重篤な過敏症の既往歴のある患者 3.妊婦又は妊娠している可能性のある婦人 4.重篤な腎障害のある患者
中止基準	投与前の好中球数: 1000/mm ³ 未満、血小板数: 50,000/mm ³ 未満 骨髄機能が回復するまでは投与延期 (CTCAE ver4.0 における Grade3 の血液毒性に準拠)
副作用	●エトポシド 重大 1.汎血球減少等の骨髄抑制 2.ショック、アナフィラキシー 3.間質性肺炎 その他 (すべて頻度不明) AST(GOT)上昇、ALT(GPT)上昇、ビリルビン上昇、γ-GTP上昇、AI-P上昇、LDH上昇、BUN上昇、クレアチニン上昇、尿蛋白、悪心・嘔吐、食欲不振、口内炎、下痢、腹痛、便秘、発疹、脱毛、紅斑、そう痒、色素沈着、頭痛、しびれ、一過性皮質盲、頻脈、心電図異常、不整脈、血圧低下、ナトリウム異常、クロール異常、カリウム異常、カルシウム異常、倦怠感、発熱、顔面潮紅、浮腫、血清総蛋白減少、味覚異常、注射部位反応 ●シスプラチン 重大 1.急性腎不全 2.汎血球減少等の骨髄抑制 3.ショック、アナフィラキシー様症状 4.聴力低下・難聴、耳鳴 5.うっ血乳頭、球後視神経炎、皮質盲 6.脳梗塞、一過性脳虚血発作 7.溶血性尿毒症症候群 8.心筋梗塞、狭心症、うっ血性心不全、不整脈 9.溶血性貧血 10.間質性肺炎 11.抗利尿ホルモン不適合分泌症候群 12.劇症肝炎、肝機能障害、黄疸 13.消化管出血、消化性潰瘍、消化管穿孔 14.急性膵炎 15.高血糖、糖尿病の悪化 16.横紋筋融解症 17.白質脳症(可逆性後白質脳症症候群を含む) 18.静脈血栓症候群 その他 (10%以上または頻度不明)悪心・嘔吐、食欲不振、脱毛、全身倦怠感、注射部位反応、血圧上昇 (1~10%未満)下痢、口内炎、末梢神経障害、AST上昇、ALT上昇、AI-P上昇、LDH上昇、血清ナトリウム、カリウム、クロール、カルシウム、リン、マグネシウム等の異常、発熱
備考	

シスプラチン+エトポシド併用療法 観察記録①

所要時間: 7時間

氏名: ID() 年齢: (才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬()	入外()
医師	指示医師:		抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の薬剤の変更・追加
	エトポシド (mg) 一般名(エトポシド)	シスプラチン (mg) 一般名(シスプラチン)		
<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止				投与開始時間 調剤 実施
投与指示	本体	側管		
	生食 500mL + 硫酸マグネシウム 10mL		1時間かけて点滴【500mL/hr】	
	生食 500mL		5時間かけて点滴【100mL/hr】	
	生食 100mL +アロキシ1V +デカドロン 3 A		30分かけて点滴【200mL/hr】	
	5%ブドウ糖500mL +エトポシド		2時間かけて点滴【250mL/hr】	
	生食 500mL + シスプラチン【total 500mL】		2時間かけて点滴【250mL/hr】	
	マンニトール注射液 20% 300mL	※300mLのうち200mL使用 (残は破棄)	30分かけて点滴【400mL/hr】	
	生食 250mL		30分かけて点滴【500mL/hr】	
本体終了後抜去				
投与翌日、翌々日に1~1.5Lの経口補水を行うよう指導 → 対応困難な際は点滴にて対応すること				

シスプラチン+エトポシド併用療法 観察記録②③

所要時間: 3時間

氏名: ID() 年齢: (才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬()	入外()
医師	指示医師: エトポシド (mg) 一般名(エトポシド)		抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の 薬剤の変更・追加
	<input type="checkbox"/> 延期・中止			投与 開始時間
投与指示	本体	側管		
	生食250mL		3時間かけて点滴【83mL/hr】	
	生食100mL +ラモセトロン1A +デカドロン 3 A		30分かけて点滴【200mL/hr】	
	5%ブドウ糖500mL+エトポシド		2時間かけて点滴【250mL/hr】	
本体終了後抜去				